

令和3年度第2回苫小牧市航空機騒音対策協議会（書面開催）

令和3年9月6日（月）～9日（木）

次 第

1 議 題

（1）報告事項

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転について

- ・「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について・・・ 資料1
- ・千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について・・・ 資料2
- ・令和3年8月23日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答について・・・ 資料3
- ・米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について・・・ 資料4
- ・令和3年9月6日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答について・・・ 資料5
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について・・・・・・・・・・ 資料6
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に伴う騒音測定地点について・・・ 資料7
- ・米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について・・・・・・・・・・ 資料8

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※令和3年度第1回苫小牧市航空機騒音対策協議会（令和3年6月3日）以降の経過

令和3年6月10日	令和3年度における米軍再編に係る航空機訓練移転について 【年度計画】
令和3年6月10日	米軍再編に係る岩国飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について
令和3年7月26日	米軍再編に係る岩国飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転に関する訓練計画概要について
令和3年8月23日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催（北海道防衛局）
	「千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について」（概略通知）
	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望、質問
	「第27回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
令和3年8月24日	商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会他関係機関へ協力要請
令和3年9月6日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催（北海道防衛局）
	「米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転に関する訓練計画概要について」（詳細通知）
	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」として要請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望、質問
	「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」部員へ訓練計画概要を周知
	商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会他関係機関へ訓練計画概要を周知

令和 3 年 8 月 2 3 日

北 海 道 防 衛 局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において9月中旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以 上

令和3年8月23日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練 移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日・祝日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日・祝日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

《回答》

①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練移転の実施に当たり、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練はもとより、訓練空域、飛行経路及び飛行方法などについても、航空自衛隊と同様の態様となります。

協定についても、平成19年1月に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認事項を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。

また、米軍帰還の際の土日・祝日及び早朝・深夜の飛行につきましては、極力そのようなことが生じないように米側に対し要請してまいります。

- 3 米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

《回答》

米軍人の本道滞在中における北海道防衛局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポートを行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対して、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行ってまいります。

- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

《回答》

訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えています。

5 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

《回答》

訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、改めて航空機の更なる安全確保について、安全確保について、訓練部隊に求めてまいりたいと考えています。

6 説明会や米軍ブリーフィング等の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

《回答》

現下の新型コロナウイルスの状況に鑑み、例年実施してきた飛行隊長へのインタビューや戦闘機見学は計画しておりませんが、当局としては、地元の皆様への情報提供については、大変重要と認識していることから、必要な感染防止策を行った上で、米軍によるブリーフィング及び当局による説明会は実施する方向で米軍と調整しているところです。

また、関係自治体等への情報提供については、引き続き、お知らせできる情報が得られれば、迅速かつ確実な情報提供に努めてまいります。

7 訓練終了後の「検証」を必ず行うこと。

《回答》

訓練終了後における訓練の状況及び騒音測定結果に係る「検証」については、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えています。

8 これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、期限を決めて目に見える形で検証すること。

《回答》

米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土への訓練移転を開始しました。

また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。

これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまで国内で59回、グアム等で54回となり、合計で113回実施しております。

これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対

する騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

当局としては、今後もどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも調整しながら検討してまいります。

9 米軍人における新型コロナウイルス感染防止対策について、来道前に全員のPCR検査を実施するとともに、本道滞在中においても不要不急の外出は控えるなど、万全を期すこと。

また、感染症に関する情報は、国の責任において、情報収集を行い、適時・適切に公表するとともに、関係自治体に情報提供を行うこと。

《回答》

防衛省としては、今回の訓練を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大に係る防止策に関し、十分な措置を講じた上で実施することが極めて重要であると考えています。

今般の訓練に際し、米側からは具体的に以下の取り組みを実施する予定である旨、説明を受けています。

- ・ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加
- ・事前にPCR検査を実施
- ・訓練期間中は不要不急の外出は控える
- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じる

また、新型コロナウイルス感染症に関連する情報については、地元保健当局への情報提供はもとより、地元自治体への情報提供についても確実行うなど、適切に対応してまいります。

●苦小牧市の個別要望

- 1 沖縄の負担軽減について、米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄県の方々が負担軽減を実感できるように努めること。

《回答》

訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

今後とも米側に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図られるよう、一層の協力を求めてまいるとともに、訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り地元の負担軽減に努めていく考えです。

- 2 機体の整備、点検の強化を図るとともに、事故が発生した場合は、原因究明及び再発防止策について速やかに情報提供を行うこと。

《回答》

米軍機の飛行に際しては、安全の確保が大前提であり、引き続き米側に対し、安全面に最大限の配慮を払うとともに、地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく考えです。

なお、千歳基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苦小牧市を含む関係自治体に迅速かつ確実に情報提供を行うなど、適切に対応してまいります。

- 3 米軍及び自衛隊について、PCR検査で陰性が確認された者のみが訓練に参加すること。また、訓練期間中においてもPCR検査を実施すること。

- 4 感染防止対策を徹底するとともに、訓練関係者に感染が確認された場合は、濃厚接触者の特定など必要な措置を行うこと。また、医療体制や連絡体制などについて、より具体的な情報提供を行うこと。

《回答》

③及び④については包括的に回答させていただきます。

本訓練に参加する自衛隊の部隊は、千歳基地に所在する部隊であることからPCR検査の実施は考えておりませんが、訓練前から健康観察を行い異常のない者が参加することとしています。

また、今般の訓練に際し、米側からは具体的に以下の取り組みを実施する予定である旨、説明を受けています。

- ・ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加
- ・事前にPCR検査を実施
- ・訓練期間中は不要不急の外出は控える
- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じる

防衛省としては、米側に対し、訓練期間中の新型コロナウイルスの感染防止対策として、不要不急の外出を控えるほか、北海道庁が定めた新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項を米側に伝え、かかる対策を遵守し感染防止策に万全を期すよう改めて要請を行ってまいります。

また、万が一、米側に感染者が確認された場合は、可能な限り地元の医療機関にご負担をかけないように、日米双方で所要の医療・衛生体制を構築するとともに、地元保健当局とも緊密に連携し、地元保健当局の指示に従い濃厚接触者の特定などの必要な調査に協力していくなど適切に対応してまいります。

●苫小牧市の質問事項

- 1 米軍は訓練にあたり、「ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加する」とのことですが、全員が接種して来ない理由をお聞かせ願います。**

《回答》

ワクチンの接種に関することは、米軍の運用に関することであることから承知していませんが、当局としましては米軍に対し感染防止策に万全を期すよう要請してまいります。

- 2 米軍は事前にPCR検査を実施して来るとのことですが、検査はどのタイミングで実施するのか、お聞かせ願います。**

《回答》

当局としては、感染防止対策の観点から最も適切な時期を決定し、当該検査を実施すると承知しています。

- 3 米軍は訓練期間中にPCR検査を実施するのか、改めてお聞きしたいです。**

《回答》

米軍からは、現時点において訓練期間中にPCR検査を実施する予定があるとは聞いていませんが、当局としましては米軍に対し感染防止策に万全を期すよう要請してまいります。

(お知らせ)

令和3年9月6日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転に
関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は114回目(国内60回及びグアム等54回)となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 訓練期間:令和3年9月13日(月)～9月22日(水)
(人員、物資輸送のため輸送機が期間の前後に飛来する予定)
- 参加部隊:【米 軍】第18航空団(嘉手納)
【航空自衛隊】第2航空団(千歳)及び航空救難団(千歳及び秋田)
- 使用基地:千歳基地
- 訓練空域:北海道西方空域及び三沢東方空域
- 演練項目:戦闘機戦闘訓練及び航空救難訓練等
- 参加規模:タイプⅡ
【米 軍】F-15×12機程度及びE-3C 人員240名程度
【航空自衛隊】F-15×12機程度、U-125A及びUH-60J
- そ の 他:今回の訓練に際し、新型コロナウイルス感染防止対策として以下の取り組みを実施する予定です。
 - ・使用基地の地域外からの訓練参加者は、全員がPCR検査を受検の上、陰性が確認された者のみが参加します。
 - ・基地及び宿泊先ホテル以外の場所への不要不急の外出は控えます。
 - ・多人数で行動する戦闘機見学等は実施しません。

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上

令和3年9月6日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練 移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」としての要請

連絡協議会として、重ねてのお願いとなるが、協定の遵守、訓練情報の提供、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底等、先日要請した9項目について、改めてお願いします。

《回答》

連絡協議会から要請のありました9項目についての再度の要請につきましては、先般の連絡協議会において、お答えさせていただきましたとおりですが、協定を遵守するとともに、航空機の更なる安全確保、米軍人の規律の保持及び新型コロナウイルス感染防止対策の徹底について、改めて当局から米軍に申し入れを行うこと、米軍と調整し可能な限りの情報提供に努めるなど、これまでと同様、周辺住民の安全・安心のために最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えています。

●苫小牧市の個別要望

- 1 協定等の遵守はもとより、機体点検の徹底、訓練の安全管理、米軍人の規律維持などについて、市民の安全・安心のため、万全の体制で訓練を行うよう重ねてお願いしたい。

《回答》

連絡協議会としての要請にもありましたが、訓練の安全に関しては、日米を問わず、訓練に参加する戦闘機について、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。

当局としましては、訓練の実施に際し、改めて航空機の更なる安全確保について、訓練部隊に求めてまいりたいと考えています。

また、規律の維持につきましても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行います。

- 2 米軍来道後にPCR検査を実施するなど、感染防止対策の徹底や感染症に関する情報提供を速やかに行い、市民の不安を払拭できるよう万全を期していただきたい。

《回答》

防衛省としては、今回の訓練を実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大に係る防止策に関し、十分な措置を講じた上で実施することが極めて重要であると考えています。

今般の訓練に際し、米側からは、ほとんどがワクチンを接種し訓練に参加すること、及び、以下の取組みを実施する予定である旨、説明を受けています。

- ・ 事前にPCR検査を実施すること
- ・ 訓練期間中は不要不急の外出は控えること
- ・ マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じること

防衛省としては、米側に対し、訓練期間中の新型コロナウイルスの感染防止対策として、不要不急の外出を控えるほか、北海道庁が定めた新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項を米側に伝え、かかる対策を遵守し感染防止策に万全を期すよう要請を行ってまいります。

3 陸上自衛隊大津駐屯地において、本年8月に大規模なクラスターが発生したが、改めて訓練に参加する自衛隊員のPCR検査を求めたい。

《回答》

本訓練に係る自衛隊の部隊は、千歳基地に所在する部隊であることからPCR検査の実施は計画していませんが、訓練参加に際しては、訓練前から健康観察を行い異常のない者が参加することとしています。

また、訓練期間中においても感染防止対策の徹底を図るなど適切に対応してまいります。

●苦小牧市の質問事項

1 米軍機における展開及び撤収の日程について教えていただきたい。

《回答》

米軍機先遣隊、支援物資等の到着、撤収については、米側の運用上及び安全上の理由から、詳細な計画は、公表を差し控えさせて頂いています。

なお、今般の訓練に係る戦闘機の展開期間は、現時点において、9月9日から同月24日までの16日となっており、概ねこの期間の前後に先遣隊、支援物資が到着し、訓練終了後、逐次、支援物資、後発隊が撤収する予定になると考えられます。

いずれにしても、当局としては、航空機の離着陸時間、機種、機数については、これまでと同様に、実施の都度、関係自治体に対し、お知らせします。

2 訓練関係者に感染が確認された場合の対応手段や医療体制などについて、より具体的に確認したい。

《回答》

米軍関係者に新型コロナウイルスの感染の疑いがある者が発生した場合は、千歳基地内において隔離し、陽性者が確認された場合は、米軍の施設へ搬送するなど、米軍で処置する計画です。

その上で、万が一、米軍の陽性者が重篤化等により搬送する暇がない状況が発生した場合については、地元保健当局と調整し、保健当局の指示に従い、指定された医療施設に搬送するなど適切に対応してまいります。

また、航空自衛隊の訓練部隊に陽性者が確認された場合は、千歳基地内において隔離した上で、地元保健当局と調整し適切に対応してまいります。

いずれにしても、陽性者が発生した場合は、地元保健当局はもとより、地元自治体への情報提供についても確実に行うなど適切に対応してまいります。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について

	訓練開始前	訓練期間中	
通知	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会 (概略通知) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会 (詳細通知) </div>		
市民周知	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【概略通知について】 ○市長記者会見 ○市ホームページ掲載 ○市役所だより掲載(道新・苫民) ○フェイスブック掲載 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【訓練情報について】 ○市ホームページ掲載 ○フェイスブック掲載 【緊急時等情報について(緊急時)】 ○市長記者会見 ○市ホームページ掲載 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【訓練終了について】 ○市長記者会見 ○市ホームページ掲載 ○市役所だより掲載(道新・苫民) ○フェイスブック掲載 </div>
関係機関協議及び連絡体制	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【概略通知の報告】 ○航路下三地区代表 ○市議会 ○商工会議所等の関係機関 (郵送) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【詳細通知の説明】 ○市議会総合開発特別委員会開催 ○航空機騒音対策協議会開催 ○商工会議所等の関係機関 (郵送) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【庁内関係部署との調整等及び緊急連絡体制の確認】 ○苫小牧市在日米軍再編問題対策会議 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【事件・事故、災害時等の連絡体制配備の検討・確認】 ○米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会 ○千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【現地連絡本部設置】 ○北海道防衛局 ※現地連絡本部体制 《住民対応》 0123-22-8752 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【苫小牧市連絡体制配備】 ○事件・事故、災害等への対応 ○苦情・問い合わせ対応 《住民対応 苫小牧市連絡先》 総合政策部まちづくり推進室 空港政策課 直通32-6083 ↓ 市民生活部危機管理室 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 訓練に係る体制等の総括 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【総括の報告】 ○市議会総合開発特別委員会 ○航空機騒音対策協議会 ○商工会議所等の関係機関 (郵送) </div>
騒音測定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【騒音調査体制の協議(臨時測定局箇所、測定日程等)】 ○北海道防衛局、北海道、苫小牧市 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【騒音調査の実施】 ○北海道防衛局 ○北海道 ○苫小牧市 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【騒音調査の公表】 </div>

苫小牧市より 植苗・美沢地区 にお住まいの方へ お知らせです

米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への 訓練移転（共同訓練）について

訓練計画概要

防衛省より、以下のとおり通知がありましたのでお知らせします。

- 訓練期間：令和3年9月13日（月）～22日（水）
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練、航空救難訓練等
- 訓練空域：北海道西方空域、三沢東方空域
- 参加部隊：【米軍】第18航空団（嘉手納）
【航空自衛隊】第2航空団（千歳）、航空救難団（千歳・秋田）
- 参加規模：タイプⅡ（1回につき6～12機の米軍機又は8～14日間参加する訓練）
【米軍】F-15×12機程度、E-3C、人員240名程度
※人員、物資輸送のため輸送機が期間の前後に飛来する予定
【航空自衛隊】F-15×12機程度、U-125A、UH-60J

訓練情報

- 飛行時間は、午前1回（9:00～11:00）、午後1回（13:00～16:00）の見込みです。
- 訓練期間中における深夜・早朝（22:00～7:00）の訓練は予定されていません。
- 米軍人のほとんどが新型コロナウイルスワクチンを接種し、また、全員がPCR検査を受検の上、陰性が確認された者のみが訓練に参加します。
- 米軍人は、基地及び宿泊先ホテル以外の場所への不要不急の外出は控えます。

苫小牧市の対応

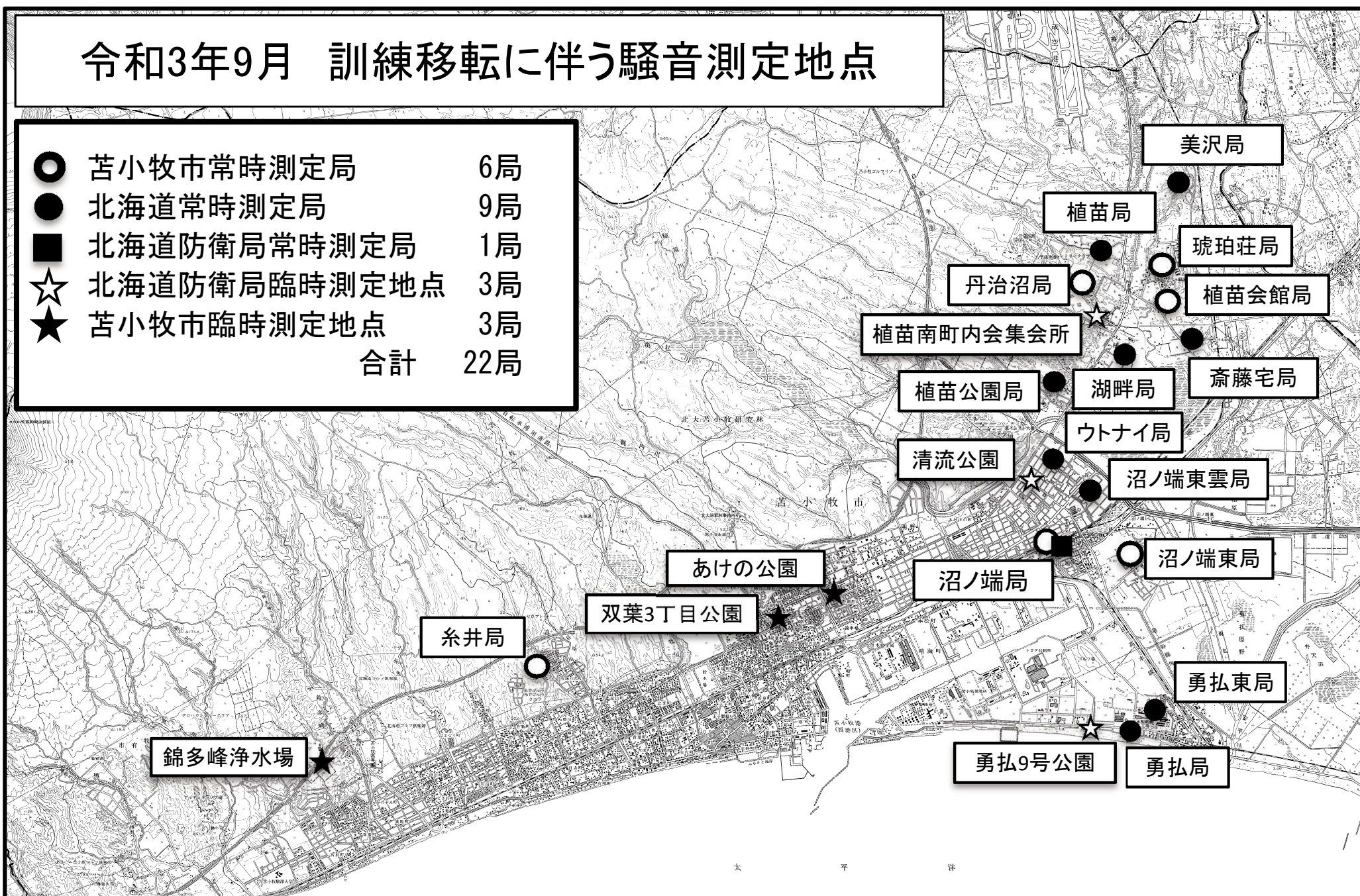
- 北海道防衛局に対して、訓練の安全管理や戦闘機等の点検整備のほか、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底など、市民の安全・安心のため、万全の体制で訓練を行うよう強く要望しています。
- 関係機関と密接な連携を図り、いち早い情報収集に努め、訓練情報や騒音測定結果等を市ホームページで随時お知らせします。

問い合わせ先

苫小牧市役所 総合政策部 まちづくり推進室 空港政策課
【電話】（直通）32-6083（代表）32-6111

令和3年9月 訓練移転に伴う騒音測定地点

- | | | |
|---|--------------|-----|
| ○ | 苫小牧市常時測定局 | 6局 |
| ● | 北海道常時測定局 | 9局 |
| ■ | 北海道防衛局常時測定局 | 1局 |
| ☆ | 北海道防衛局臨時測定地点 | 3局 |
| ★ | 苫小牧市臨時測定地点 | 3局 |
| | 合計 | 22局 |



◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
18	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1回程度					H19.1.11通知、3月を目途とし回数不明記はないが1回と思われる	
	築城	H19.3.5(月)～3.8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の連絡会議		
	計	築城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣		
19	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H19.1.31通知	
	小松	H19.5.16(水)～5.23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。	
	築城	H19.6.18(月)～6.22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無		
	三沢	H19.7.16(月)～7.21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない	
	新田原	H19.9.3(月)～9.5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣		
	百里	H19.10.15(月)～10.19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣		
	小松	H19.11.5(月)～11.16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15事故調査のため中止	
	百里	H20.1.15(火)～1.18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無		
	新田原	H20.2.12(火)～2.15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無		
	千歳	H20.2.25(月)～2.28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣			
20	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加): タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):併せて1.0回程度					H20.6.20通知	
	三沢	H20.7.23(水)～7.30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。	
	新田原	H20.9.2(火)～9.4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無		
	小松	H20.12.1(月)～12.5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無		
	千歳	H20.12.8(月)～12.12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣		
	新田原	H21.2.23(月)～2.27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣			
21	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H21.1.28通知	
	千歳	H21.4.20(月)～4.23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣		
	三沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。	
	百里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止。テスト飛行1回のみ。	
	小松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	11/14・15の土日の訓練は行われていない。	
	百里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。	
	三沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28、3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	築城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:2回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 計:6回		I:2回 Ⅱ:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:1回	1基地派遣			
22	計画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加)タイプⅠ・Ⅱあわせて1.5回程度					H22.1.29通知	
	小松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。	
	三沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。	
	千歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。	
	小松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。	
計	千歳:1回 小松:2回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 Ⅱ:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し		
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣		
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26. 3. 28通知	
	三 沢	H26. 6. 12(木)～6. 24(火)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射爆撃訓練に参加。	
	グアム	H26. 6. 19(木)～7. 10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26. 9. 5(金)～9. 26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26. 9. 15(月)～10. 7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26. 10. 18(土)～10. 31(金)	F15×12機 約200人	Ⅱ	嘉手納	無		
	小 松	H26. 11. 7(金)～11. 20(木)	F16×8機 約140人	Ⅱ	三沢	無		
	グアム	H26. 12. 3(水)～12. 19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27. 2. 2(月)～2. 28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27. 2. 9(月)～2. 28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	百 里	H27. 3. 9(月)～3. 21(土)	FA18×5機 約60人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回			I:0回 II:4回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し		
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27. 3. 25通知	
	グアム	H27. 7. 13(月)～8. 7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27. 8. 17(月)～9. 4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27. 8. 21(金)～9. 3(木)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無		
	百 里	H27. 9. 7(月)～9. 18(金)	FA-18×5機 約80人	Ⅱ	岩国	無		
	グアム	H27. 9. 11(金)～10. 8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27. 12. 1(火)～12. 18(金)	F-15×12機 約300人	Ⅱ	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27. 12. 2(水)～12. 18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27. 12. 8(火)～12. 11(金)	F-15×4機 約50人	I	嘉手納	無		
	千 歳	H28. 1. 12(火)～1. 22(金)	FA-18×5機 約70人	Ⅱ	岩国	1名派遣		
	グアム	H28. 2. 1(月)～2. 28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28. 2. 7(日)～2. 28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28. 3. 7(月)～3. 18(金)	FA-18×6機 約70人	Ⅱ	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回			I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
28	計画		グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定			H28.4.4通知	
	グアム	H28.7.19(火)～8.12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転
	小松	H28.7.25(月)～7.29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無	
	グアム	H28.9.8(木)～9.23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H28.9.8(木)～9.27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	千歳	H28.12.5(月)～12.16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣	
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-15×12機 FA-18×8機 約700人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H29.2.15(水)～3.3(金)	F-16×14機 EA-18×6機 約440人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:3回 岩国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣		
29	計画		グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定			H29.3.29通知	
	グアム	H29.4.20(木)～5.8(月)	F-15×14機 約270人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	三沢	H29.7.7(金)～7.14(金)	F-15×6機 約160人	II	嘉手納	無	
	百里	H29.7.7(金)～7.21(金)	FA-18×6機 約140人	II	岩国	無	
	築城	H29.9.30(土)～10.7(土)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無	
	新田原	H30.1.19(金)～1.26(金)	F-15×6機 約140人	II	嘉手納	無	米軍の運用上の都合(火山活動が飛行の安全に影響を及ぼす可能性があるため)中止
	百里	H30.1.22(月)～1.26(金)	F-16×5機 約100人	I	三沢	無	米軍の運用上の都合(米国政府の予算措置の関係上)により中止
	グアム	H30.2.8(木)～3.6(火)	F-15×12機 FA-18×8機 約660人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.2.12(月)～3.9(金)	F-16×14機 約300人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:6回		I:0回 II:3回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:2回 嘉手納:3回	派遣無し		
30	計画		グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定			H30.3.16通知	
	百里	H30.4.6(金)～4.12(木)	FA-18×5機 約60人	I	岩国	無	
	千歳	H30.4.23(月)～4.27(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	1名派遣	
	三沢	H30.5.9(水)～5.24(木)	F-35×8機 約140人	II	岩国	無	
	小松	H30.7.16(月)～7.20(金)	F-15×6機 約120人	II	嘉手納	無	
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	F-15×12機 EA-18×5機 約500人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	FA-18×10機 F-35×8機 約960人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.9.10(月)～9.21(金)	F-15×12機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	新田原	H30.10.27(土)～11.8(木)	F-15×8機 約140人	II	嘉手納	無	
	築城	H30.11.5(月)～11.8(木)	F-16×6機 約80人	II	三沢	無	
	グアム	H31.2.11(月)～3.7(木)	F-16×14機 約310人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H31.2.13(水)～3.12(火)	F-15×12機 FA-18×10機 約670人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
グアム	H31.3.11(月)～3.29(金)	FA-18×17機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:4回 岩国:5回 嘉手納:5回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
令和元年度	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H31.3.25通知	
	グアム	H31.4.22(月)～4.27(土)	F-15×6機 F-16×6機 約270人	グアム	嘉手納三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R1.6.3(月)～6.28(金)	FA-18×10機 約200人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	小松	R1.10.1(火)～10.4(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	三沢	R1.10.10(木)～11.4(月)	FA-18×12機 約170人	II	岩国	無	土日祝並びに10/10、11、28日は訓練は行われていない。	
	グアム	R2.1.27(月)～2.6(木)	F-15×12機 約210人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R2.1.31(金)～3.6(金)	F-16×14機 EA-18×5機 約430人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.2.4(火)～3.11(水)	F-15×12機 FA-18×10機 E-3×2機 KC-135×2機 約680人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.3.2(月)～3.26(木)	FA-18×16機、EA-18×3機 E-2D×4機 約510人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	グアム	R2.3.6(金)～3.31(火)	FA-18×16機、EA-18×3機 約430人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:7回 計:9回		I:0回 II:2回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:5回 嘉手納:3回	派遣無し			
2年度	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R2.3.30通知	
	千歳	R2.8.24(月)～8.28(金)	F-15×6機 F-16×6機 約200人	II	嘉手納三沢	1名派遣		
	新田原	R2.10.26(月)～11.5(木)	F-15×12機 約200人	II	嘉手納	無		
	グアム	R3.2.1(月)～2.28(日)	F-16×15機 EA-18G×5機 約520人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
	グアム	R3.2.3(水)～2.19(金)	F-15×14機 E-3×2機 約370人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
	グアム	R3.2.3(水)～3.9(火)	FA-18×12機 約310名	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施	
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:1回 嘉手納:3回	1名派遣			
3年度	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R3.6.10通知	
	グアム	R3.6.17(木)～7.14(水)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約470人	グアム	岩国三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施	
	グアム	R3.8.4(水)～9.3(金)	FA-18×12機 EA-18G×5機 約480人	グアム	岩国三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施	
	千歳	R3.9.13(月)～9.22(水)	F-15×12機 E-3C×1機 約240人	II	嘉手納	1名派遣		
計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:2回 計:3回		I:0回 II:1回 グアム:2回	三沢:2回 岩国:2回 嘉手納:1回	派遣無し			

(お知らせ)

令和3年6月10日
防 衛 省

令和3年度における米軍再編に係る航空機訓練移転について

令和3年度の米軍再編に係る航空機訓練移転については、10回程度の実施を目標に計画する予定です。

当該訓練移転は、日米の相互運用性の向上及び嘉手納をはじめとする米軍飛行場周辺の騒音軽減を目的として実施されるものであり、日米両政府の緊密な協力関係により実現するものです。

今般、今年度第1回目となる米軍再編に係る岩国飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転(単独訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

- 訓練期間:令和3年6月17日(木)～7月14日(水)
(訓練は週4日間実施)
- 参加部隊:第12海兵航空群(岩国)、第132電子攻撃中隊(三沢)
- 訓練場所:グアム島のアンダーセン空軍基地及び北マリアナ諸島の
ファラロン・デ・メディニラ空対地射場
- 演練項目:戦闘機戦闘訓練及び空対地射爆撃訓練
- 参加規模:FA-18×12機程度、EA-18G×5機程度
人員470名程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上

(お知らせ)

令和3年7月26日
防 衛 省

米軍再編に係る岩国飛行場及び三沢飛行場からグアム等への
訓練移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る岩国飛行場及び三沢飛行場からグアム等への訓練移転(単独訓練)に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は113回目(国内59回及びグアム等54回)となり、グアム等への訓練移転は、平成23年1月及び10月の日米合同委員会合意に基づき、本来であれば、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練をグアム等へ移転するものです。

- 訓練期間:令和3年8月4日(水)～9月3日(金)
(訓練は各週4日間程度実施)
- 参加部隊:第12海兵航空群(岩国)及び第132電子攻撃中隊(三沢)
- 訓練場所:グアム島のアンダーセン空軍基地
北マリアナ諸島のファラロン・デ・メディニラ空対地射場
- 演練項目:戦闘機戦闘訓練及び空対地射爆撃訓練
- 参加規模:FA-18×12機程度及びEA-18G×5機程度
人員480名程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上